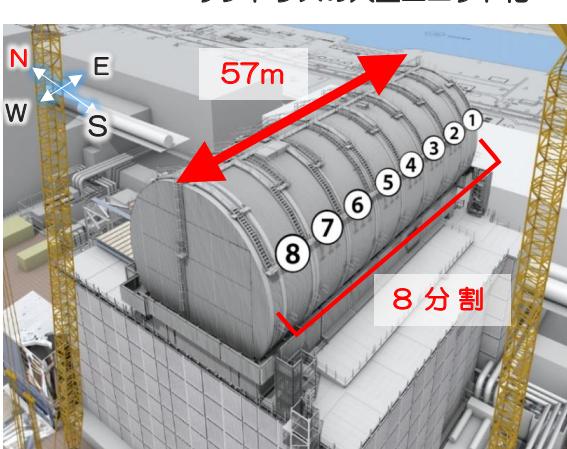
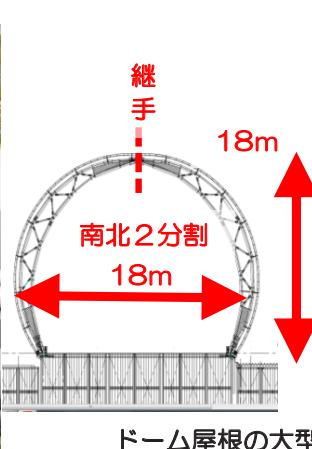


場所	分類	Z 7	1 時間 2 距離 3 遮へい 4 線源の除去 5 遠隔、味・マッタ化 6 汚染拡大防止 7 その他	番号	30-14-04	
原子炉建屋内 RB タービン建屋内 TB R ZONE R Y ZONE Y G ZONE G その他 () (Z)						
被ばく低減対策好事例集						
内 容					3号機オペフロへのドーム屋根他設置作業における被ばく低減対策	
作業場所					1F 構外 (小名浜地区)	
概 略					1F-3号機 原子炉に設置してある使用済み燃料を撤去・移動するため、建屋上に堆積したガレキの撤去ならびに使用済み燃料移送のための新規建屋等の設置を行った。	
評価 (定性・定量)	効果		対策前	対策後		
		被ばく線量(mSv)	17,621	1,578		
		人工数(人日)	--	--		
事例詳細						
対策前 3号機オペフロは高線量率であり、そこでドーム屋根の組立を行うと多量の被ばくが予想された。						
対策内容 ドーム屋根の先行組立を、1F構外である小名浜地区(管理区域外)で実施し、1F構内での作業を削減した。また、組立機器は、可能な限り大型化とした。						
  <p>メイントラスの大型ユニット化</p>						
    <p>妻壁の先行組立・大型ユニット化</p>						
  <p>サブトラスの大型ユニット化</p>						
   <p>ドーム屋根の大型ユニット化</p>						